年間授業計画　新様式例

桜修館中等教育 高等学校　令和６年度（4学年用）　教科　　国語　　科目　言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　4 学年　A 組～　D 組

使用教科書：（ 数研出版「高等学校　言語文化」　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めて

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　言語文化　　の目標：

a【知識及び技能】	b【思考力、判断力、表現力等】	c【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 古文に親しみ、古文の世界を味わう【読む】	①歴史的仮名遣いの読み方を学ぶ。 ②古語と現代語の違いについて理解し、辞書の使い方について学ぶ。 ③説話の面白さについて、内容・表現・歴史的背景などの点から理解する。 ④品詞について理解する。特に体言と用言の区別、用言の品詞の区別を理解する。			○	a(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ア）作品を読んで、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 エ）作品を読んで、文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 （2）我が国の言語文化に関する事項 イ）古典の世界に親しむために、説話の歴史的・文化的背景などを理解している。 ウ）古典の世界に親しむために、古典をよむために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 エ）時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解している。 b【読む】 ア）説話という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c　教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。（授業態度）／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。（発表・授業時の態度）	○	○	○	4
	B 単元 漢文を読むためのきまりを理解する【読む】 漢文に親しみ、漢語の成り立ちを理解する【読む】	①日本語と漢文の構造の違いを理解する。 ②漢文訓読の仕方を学ぶ。 ③返り点の種類と、それに従った読み方を理解する。 ④「書き下し文の原則」を理解する。 ⑤助字（置き字）の種類と用法を理解する。 ⑥返読文字の種類と、その読み方・意味を理解する。 ⑦再読文字の種類と、その読み方・意味を理解する。 ⑧「送り仮名のきまり」を理解する。			○	a(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ア）漢文句法を学び、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 エ）作品を読んで、文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 （2）我が国の言語文化に関する事項 ア）漢文句法を学び、作品を読むこと、および熟語の分析を行うことで我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 イ）古典の世界に親しむために、漢文句法や作品の歴史的・文化的背景などを理解している。 ウ）古典の世界に親しむために、古典をよむために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 エ）時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解している。 カ）我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 b【読む】 ア）漢文句法を踏まえ、漢文の構成などについて的確に捉えている。 c　教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。（授業態度）／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。（発表・授業時の態度）	○	○	○	6
	C 単元 フィクションの表現を探究する【読む】	①時代背景、時刻や場所の設定、主人公の置かれている状況など、作品の枠組みをまとめる。 ②登場人物のやりとりや小説の結末を通して、人間が自分の進退や生死などに関する選択や決断で苦悩するときの思考のあり方を考察する。 ③周到に計算された描写や比喩などの表現技巧を整理し、その効果と小説世界の有機的な構造を考える。 ④「参考」として掲載されている古典の文章と比較して、その違いをまとめる。 【実践】 ①類似の内容の古典と読み比べる。			○	a(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ア）作品を通して、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 イ）常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 エ）文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 （2）我が国の言語文化に関する事項 ア）我が国の言語文化の特質について理解している。 エ）類似の古文と読み比べて、時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解している。 b【読む】 ア）小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 イ）作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ウ）作品の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c　教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。（授業態度）／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。（発表・授業時の態度）	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	D 単元 背景を考えながら作品の視点を解釈する【読む】	①助詞について理解する。 ②日記の内容を把握し、作者の心情を理解する。 ③日記に描かれた平安時代の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ④日記の特色について理解する。 【実践】 ①自らの出来事を、自分自身とは語り手の設定を変えて語る。 ②古典の物語を一人称に換えて書く			○	a(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ア）作品を読んで、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 エ）作品を読んで、文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 （2）我が国の言語文化に関する事項 イ）古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などを理解している。 ウ）古典の世界に親しむために、古典をよむために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 エ）時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解している。 b【読む】 イ）作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 エ）作品や日記文学の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c　教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。（授業態度）／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。（発表・授業時の態度）	○	○	○	4
	E単元 唐詩を通して心情を伝える表現を身につける【書く】	①それぞれの唐詩を声に出して読み、音声として味わう。 ②唐詩の表現に即して内容を味わい、作者の心情を理解する。 ③唐詩の種類・修辞や、その役割に				a(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ア）唐詩を通して、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ウ）唐詩と「枕草子」を読み比べて、我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 エ）唐詩を通して、文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 （2）我が国の言語文化に関する事項 ア）唐詩を通して、我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係				

	ついて理解する。 ④さまざまな詩人についての理解を深める。 ⑤「句法のまとめ」に挙げられた句法について理解する。 【実践】 翻案詩を創作する。			○	ア）唐詩を通して、我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 イ）古典の世界に親しむために、唐詩の歴史的・文化的背景などを理解している。 ウ）古典の世界に親しむために、古典をよむために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 エ）時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解している。 オ）翻案を通して、本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 b【読む】 ア）翻案詩を創作するなかで、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 イ）翻案詩を創作するなかで、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c　教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。（授業態度）／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。（発表・授業時の態度）	○	○	○	4
F単元 フィクションの表現を探究する【読む】	①作品とその時代について理解する。 ②それぞれの作品（第一夜・第六夜）を精読し「夢」を設定することでどのようなことが表現可能になったかを読み取る。 ③それぞれの作品の時間・空間（場所）の特徴を把握し、概略を理解する。 【実践】 ①「胡蝶の夢」と読み比べる。			○	a(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ア）作品を読んで、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 イ）常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 エ）作品を読んで、文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 （2）我が国の言語文化に関する事項 ア）我が国の言語文化の特質について理解している。 エ）時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解している。 b【読む】 ア）小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 イ）作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ウ）作品の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c　教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。（授業態度）／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。（発表・授業時の態度）	○	○	○	6
定期考査						○	○		1
A単元 語りの文体が表す臨場感に触れる【読む】	①音便・敬語法・対句表現について理解する。 ②物語の内容を把握し、登場人物の心情を理解する。 ③物語に描かれた平安時代末期の武人の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ④軍記物語の特色について理解する。 ⑤語りの文体としての軍記物語の特色を声に出して味わう。 【実践】 ①琵琶法師の語る「平家物語」を聞き、「語り」の特徴を理解する。			○	a(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ア）作品を読んで、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 エ）作品を読んで、文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 （2）我が国の言語文化に関する事項 イ）古典の世界に親しむために、歴史的・文化的背景などを理解している。 ウ）古典の世界に親しむために、古典をよむために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 エ）時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解している。 オ）和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。 b【読む】 ウ）作品の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 エ）作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c　教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。（授業態度）／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。（発表・授業時の態度）	○	○	○	4
B単元 思想を伝える表現の工夫を読み取る【読む】	①作品の内容を把握し、その論理展開を理解する。 ②作品に描かれた当時の中国の人々の生活や、ものの見方・感じ方・考え方を理解する。 ③孔子について理解する。 ④［参考］に示した古典の内容を把握し、孔子の考え方を理解する。 ⑤漢文の特色を声に出して味わう。			○	a(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ア）作品を読んで、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 エ）作品を読んで、文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 （2）我が国の言語文化に関する事項 ア）作品を読んで、我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 イ）古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などを理解している。 ウ）古典の世界に親しむために、古典をよむために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 エ）時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解している。 b【読む】 エ）作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 オ）作品の内容や解釈を踏まえ、自分の物の見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c　教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。（授業態度）／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。（発表・授業時の態度）	○	○	○	6
C単元 研ぎ澄まされた表現に触れ、ものの見方・感じ方を深める。【読む・書く】	①近現代の文章はどのようなジャンルに分類されているか学ぶ。 ②それぞれのジャンルの特徴を考える。 ③「口承文学」という言語文化について考える。 ④「物語る」ことについて、自らの体験と照らし合わせて考え、まとめる。			○	a(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ア）様々なジャンルの文章を知ることで、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 イ）常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 エ）様々なジャンルの文章を読んで、文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 （2）我が国の言語文化に関する事項 ア）我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b【読む】 ア）様々なジャンルの文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 イ）様々なジャンルの作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ウ）様々なジャンルの文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 オ）様々なジャンルの作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。 c　教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。（授業態度）／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。（発表・授業時の態度）	○	○	○	8
定期考査						○	○		1
D単元 文章を手掛かりに作者の思いを読み取る【読む】	①助詞・まぎらわしい語の区別について理解する。 ②形容詞の音便について理解する。 ③随筆の内容を把握し、作者の心情を理解する。 ④随筆に描かれた鎌倉時代の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。				a(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ア）作品を通して、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 エ）作品を読んで、文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 （2）我が国の言語文化に関する事項 イ）古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ウ）古典の世界に親しむために、古典をよむために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 エ）時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解している。 b【読む】				

		する。 ⑤随筆の特色や、『徒然草』について理解する。 【実践】 ①「徒然草」と「玉勝間」を比較する。			○	イ）「徒然草」と「玉勝間」を読み比べて、それぞれに表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 エ）「徒然草」の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c　教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。（授業態度）／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。（発表・授業時の態度）	○	○	○	8
	E単元 描かれたことばと行動から人間像を読み取る【読む】	①作品の内容を把握し、登場人物の心情を理解する。 ②作品に描かれた当時の中国の人々の生活や、ものの見方・感じ方を理解する。 ③中国の歴史・文化について理解する。 ④漢文の特色を声に出して味わう。 【実践】 ①登場人物を一人選び、その人柄が最もよく伝わる発言や行動を抜き出して、グループで話し合う。 ②抜き出した部分をもとに人物像をまとめ、発表する。 ③人物評を書く			○	a(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ア）作品を読んで、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 エ）作品を読んで、文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 （2）我が国の言語文化に関する事項 ア）作品を読んで、我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 イ）古典の世界に親しむために、作品の歴史的・文化的背景などを理解している。 ウ）古典の世界に親しむために、古典をよむために必要な文語の決まりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 エ）時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解している。 b【読む】 イ）作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 エ）作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 オ）作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c　教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。（授業態度）／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。（発表・授業時の態度）	○	○	○	4
	F単元 作品と対話し、自分の味方、考え方を深める【読む・書く】	①論理的に構成された随想の内容を理解する。 ②作者の主張について考える。 【実践】 ①本居宣長の主張をもとに、「古典と私」というタイトルで小論文を書く。		○		a(1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ア）作品を読んで、言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 エ）作品を読んで、文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 （2）我が国の言語文化に関する事項 イ）古典の世界に親しむために、「玉勝間」の歴史的・文化的背景などを理解している。 ウ）古典の世界に親しむために、古典をよむために必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。 エ）時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解している。 b【読む】 オ）作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国にの言語文化について自分の考えをもっている。 c　教材の内容に関心と親しみを持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。（授業態度）／発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを積極的に継承していくことについて自覚をもとうとしている。（発表・授業時の態度）	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
										合計 70